

果樹病虫害発生予察調査結果（7月25日調査分）
（三条、加茂、田上地域）

7月25日（水）に実施した予察調査結果をお知らせいたします。

（モ モ） ※せん孔細菌病・灰星病の進展に注意！

定点園地ごとに5新梢について調査したところ、降雨は少ない状況ですが、せん孔細菌病が進展しており、一部園地では果実に多く発生しています。中・晩生品種では発生拡大が懸念されますので、今後収穫後の防除も重点的に行う必要があります。

また、灰星病も一部で確認されました。降雨は少ない状況ですが、発病が拡大することも考えられますのでJAから配布されているモモの除袋時期及び薬剤防除スケジュールを参考に灰星病防除を徹底してください。

ナシヒメシンクイによる新梢の芯折れが確認されています。今後はナシに加害が移行していくため、隣接しているナシ園地では注意が必要です。

裂果が一部で発生しています。収穫果へ混入しないように注意しましょう。

（ナ シ） ※セイヨウナシ褐色斑点病は発病が拡大。ナシヒメシンクイに注意。

定点園地ごとに5新梢について調査した結果、夏季の高温時は菌の活動は抑制的ですが、気温の低下とともに黒星病が活動を再開しますので、油断せずに各自園地の確認を行ってください。罹病した葉・果実は適宜摘み取りを行い、園外への持ち出しや土中へ埋める等の対策をお願いします。秋期の感染防止対策をしっかりと行ってください。

セイヨウナシ褐色斑点病は昨年に比べ、新梢発病葉率が上がってきてますので、特に発生の多い園地は、新梢上位葉まで薬剤が届くよう枝の管理を行うとともに、雨天等により防除間隔が空くと発生が拡大してきますので、防除間隔を空けないように注意してください。

ナシヒメシンクイは、今後ナシへ移行してきます。モモ隣接園では特に注意してください。

ハダニ・サビダニ類は、被害が拡大している園地が確認されています。

各自、園地を確認し薬剤防除を徹底して下さい。

※台風12号の発生が確認されました。現在の進路予想では大きな影響はないと思われていますが、今後の情報に注意するとともに、事前準備を進め被害防止に努めて下さい。

※ この時期の薬剤防除について、収穫期が近づいている樹種もありますので隣接する園地に対する収穫前日数、ドリフト等に十分注意してください。

薬剤の散布時期についての詳細は、JAにいがた南蒲各選果場、あぐりセンターに情報が掲載されていますのであわせて確認ください。

なお、これに関連した情報、その他生育情報等については農業普及指導センターよりJAをとおして情報が送付される予定です。

※次回の調査は8月10日（金）です。よろしくお願ひします。

※本日実施した予察調査結果については、組合ホームページ上でも確認いただけます。

担当：果樹共済係

Tel.0258-36-8105